

# 平標山スキー報告

【山城】上越 平標山

【日程と天気】2019年1月20日（日）晴れ間のち雪

【メンバー】CL 菊池・鶴田・斎藤（健）・石橋・瀧瀬（記）

【行程】

千葉ー湯沢 ICー国道 17 号火打峠除雪スペースーヤカイ沢ー平標山（1650mmまで）  
ー往路を滑走



・大寒の 1/20 平標山スキーに行ってきました。高温予想のため直前まで妙高藤巻尾根とどちらにするか検討しましたが、CLのこれまでの経験から零度以上にはならないだろうとの判断で平標に決定となりました。

火打峠のトンネル手前の除雪スペースをスタートする 7:56 頃にはすでに 20 台ほ



どの車が駐車していました。

- 記録者の私は初めての新雪（深雪）ツアーなので、ドキンドキンのスタート！

午後からお天気が崩れる予報ですが、ヤカイ沢から青空の中平標山頂が綺麗に望めました。（午後から天気が崩れる予報であるが、意外にヤカイ沢から平標山頂まで望めラッキーであった。ガスなどで視界不良を懸念したがその心配はしばらくなさそう。藪がやや煩い台地を進むが、ごく一部に表面がクラスト気味であるが、概ね重パウが温存されており一安心、早いスタートの数名の P が早くも山頂からヤカイ沢を気持ちよさそうに滑走しているのが見える。雪崩の心配はなさそうで綺麗な大斜面シュプールを刻んでいた。台地から右側のやや急なブナ林を経て尾根に向かうが、その手前のいつもの見事なブナの地点で行動食休憩、南西向きの台地より北西向きのブナ林は雪質が良く、このブナ林滑走が今日のハイライトである。菊池記）

「ごく一部に表面クラスト気味だが、北西向きの雪質はまあまあだから重めのパウダーが楽しめそうだ」とハイクアップの途中 CL から説明を受けながら、年末年始にインフルエンザで体力が弱りプラス約一年ぶりのハイクアップに額から汗がしたたります。

不慣れな時季のハイクアップにまるでワックスの効いたフローリングを歩くうさぎちゃんのように、ズルズルと滑りなかなかアップしていきません。ヒーヒーしていると経験豊富な諸先輩方からの的確なアドバイスをいただき、なんとか下降開始点まで UP できました。



- お天気はすでに崩れ始め粉雪がチラチラと降り始め、準備に 15 分。11:30 いよいよ滑走開始です。やや重パウでターンしにくいですが、スピードは出ないので前回の講習で教わった板の上に乗る！を口ずさみ慎重に滑走。楽しい！これが山スキーだあ～苦労して登ったからこそ味わえる感動です。転ぶと起き上がるのが大変なので転ばない



ように頑張ります。



標高が低くなるほどに雪質が悪くなり、引っかけやすくなり変化してきました。安全に慎重にケガをしないように、ゆっくり無理せずに滑走しました。

右手の開けた台地を滑走していくと急斜面の沢地形に行く手を阻まれ、CLが慎重にルートを見極め、シールを再装着して少しハイクアップし正規ルートに移動出来ました。

最後はボブスレーのようなコースをスピードコントロールしながら下り、無事に登山道に降り立ち、吹雪のような中別荘地の車道を駐車場まで滑りました。



- 途中宿場の湯で冷えた体を温めほっこりして帰途につきました。経験豊富な先輩方からアドバイスをいただけ、山行に参加するたびに素敵な方々と知りありになって、ちば山に来て本当に良かったと感じています。